

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 株式会社 ニレコ

上場取引所 東

コード番号 6863 URL <http://www.nireco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川路 憲一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員管理部門長 (氏名) 長塚 寛 TEL 042-642-3111

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,812	△14.5	133	△70.1	188	△62.0	194	△53.2
25年3月期第3四半期	5,630	11.2	448	135.2	496	127.5	414	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 189百万円 (△47.7%) 25年3月期第3四半期 361百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	26.20	26.08
25年3月期第3四半期	56.50	56.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	12,537	11,058	87.5
25年3月期	12,497	11,009	87.3

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 10,972百万円 25年3月期 10,914百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,800	△5.4	250	△41.4	300	△38.3	300	△42.4	40.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	9,205,249 株	25年3月期	9,205,249 株
26年3月期3Q	1,769,819 株	25年3月期	1,826,619 株
26年3月期3Q	7,404,613 株	25年3月期3Q	7,340,296 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、上記予想に関する事項は添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国や欧州経済の先行きに不透明感が残る中、政府の経済対策や円安傾向の持続による効果もあり、本格的な回復に向けた足取りが一段と強まりました。

しかしながら、当社グループ（当社及び連結子会社）の主要取引先であります印刷業、紙加工業、電子部材メーカー、鉄鋼業及び化学工業などの設備投資に向けた動きは、一部業種に出始めたものの、市場動向を見極めたいという姿勢が依然として根強く、概して慎重な傾向が続きしました。

このような情勢の下、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は4,812百万円（前年同期比85.5%）、営業利益は133百万円（前年同期比29.9%）、経常利益は188百万円（前年同期比38.0%）となりました。一方、保有株式の売却による特別利益として投資有価証券売却益142百万円を計上したため、四半期純利益は194百万円（前年同期比46.8%）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① プロセス事業

当事業の主要取引先であります国内鉄鋼業界は、市場環境が改善する中、将来に向けた戦略的観点から国内設備投資については対象を絞り、海外設備投資に注力しましたが、海外鉄鋼業界の新規設備投資は休止状態が続きました。このような状況において、鉄鋼製品の品質向上と生産効率化を支える新製品群を中心に積極的な営業に努めるとともに、生産の維持に必要な中小型の設備改修・更新案件、予備品・部品の販売やメンテナンスなどのアフターサービス獲得に注力しました。結果として、受注高は前年同期に比べ大幅増となりましたが、前期末の受注残高低迷の影響により、プロセス事業の売上高は1,583百万円（前年同期比90.5%）、セグメント利益は145百万円（前年同期比72.8%）となりました。

② ウェブ事業

当事業の主要取引先であります高機能フィルム業界は、スマートフォンやタブレット端末の旺盛な需要の下、中小型パネル向け部材の生産は引き続き好調なものの、設備投資に関しては慎重な動きが続きました。また、二次電池市場に対しては、予想外に需要が伸び悩んでいるため設備投資に消極的でした。このような状況において、耳端位置制御装置や張り制御装置の営業活動に注力しましたが、前年同期の売上高を下回りました。

もう一方の主要取引先であります印刷業界は、包装や特殊印刷などを対象に印刷品質検査装置や糊付け装置の拡販に注力しましたが、商業印刷市場が厳しい環境にあるため、前年同期の売上高を下回りました。

結果として、ウェブ事業の売上高は2,082百万円（前年同期比88.2%）、セグメント利益は235百万円（前年同期比66.7%）となりました。

③ 検査機事業

当事業の主要製品であります無地検査装置は、スマートフォンやタブレット端末の中小型パネル向け高性能検査装置のニーズに対して、能力を大幅に向上させた新型機を第3四半期に投入しました。また、二次電池電極シート検査装置は、市場が伸び悩む中、将来の本格的な設備投資需要に備えてシェアの維持および新型機の開発に注力しました。しかしながら、どちらの市場も設備投資に慎重な姿勢が継続していることから前年同期の売上高を下回りました。

もう一つの主要製品であります選果装置は、国内選果場設備の更新期を迎えている中、独自技術である生傷・腐敗センサも高く評価されております。また、海外の新規顧客開拓により市場拡大に向けた足掛りを築くことができましたが、大口案件があった前年同期と比べ売上高は下回りました。

結果として、検査機事業の売上高は1,118百万円（前年同期比74.6%）、セグメント利益は147百万円（前年同期比51.1%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて39百万円増加し12,537百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少711百万円、投資有価証券及び有価証券の売却を主な要因とした減少270百万円、商品及び製品の減少18百万円などがあったものの、売掛債権の回収を主な理由とした現金及び預金の増加1,063百万円などがあった事によります。また、負債は前連結会計年度末に比べて9百万円減少し1,478百万円となりました。これは主に流動負債その他の増加144百万円、未払法人税等の増加71百万円、退職給付引当金の増加29百万円があったものの、未払費用の減少132百万円、繰延税金負債の減少42百万円、工事損失引当金の減少37百万円、長期借入金の減少32百万円があった事によります。

純資産は前連結会計年度末に比べて49百万円増加し11,058百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金の減少71百万円があったものの、為替換算調整勘定の増加51百万円、ストックオプションの権利行使や売却による自己株式の減少38百万円、利益剰余金の増加34百万円があった事によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間までの業況は、「(1)経営成績に関する説明」に記載のように、経済環境としては回復基調にあるものの、当社取引先全般においては、いまだ想定以上に設備投資に慎重な傾向が続いており、特にウェブ事業においてその傾向が顕著であります。

これら現状からすると第4四半期連結会計期間においても、第3四半期連結累計期間までの未達分を取り返すほどの急激な回復は見込めないと考えております。

以上の状況を踏まえ、通期業績予想につきましては見直しをおこないました。その結果、前回公表の予想に比べ売上高を700百万円、営業利益、経常利益を各々270百万円、当期純利益を200百万円減少する修正をおこなっております。

なお、詳細は本日別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,648,003	4,711,987
受取手形及び売掛金	2,857,019	2,145,307
有価証券	72,787	41,088
商品及び製品	1,215,001	1,196,006
仕掛品	491,918	581,424
原材料及び貯蔵品	477,263	461,544
繰延税金資産	333,677	329,644
その他	239,188	237,559
貸倒引当金	△28,741	△26,325
流動資産合計	9,306,118	9,678,236
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	418,612	396,584
機械装置及び運搬具(純額)	89,341	71,920
工具、器具及び備品(純額)	65,260	60,695
土地	650,942	644,942
建設仮勘定	4,140	19,300
有形固定資産合計	1,228,297	1,193,443
無形固定資産		
リース資産	108,964	110,584
その他	27,603	15,504
無形固定資産合計	136,567	126,089
投資その他の資産		
投資有価証券	1,356,520	1,118,010
長期貸付金	261,350	222,304
繰延税金資産	2,521	2,973
破産更生債権等	172,195	173,903
その他	209,010	197,161
貸倒引当金	△175,229	△175,120
投資その他の資産合計	1,826,369	1,539,233
固定資産合計	3,191,234	2,858,766
資産合計	12,497,352	12,537,003

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	245,420	258,511
1年内返済予定の長期借入金	32,000	32,000
リース債務	30,107	30,009
未払費用	382,159	249,269
未払法人税等	39,668	111,353
未払消費税等	39,017	23,373
役員賞与引当金	24,100	18,000
工事損失引当金	108,470	71,000
その他	198,443	342,590
流動負債合計	1,099,386	1,136,108
固定負債		
長期借入金	112,000	80,000
リース債務	78,857	80,575
繰延税金負債	74,250	31,631
退職給付引当金	103,752	133,469
役員退職慰労引当金	19,306	16,582
負ののれん	266	—
固定負債合計	388,432	342,258
負債合計	1,487,818	1,478,366
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,072,352	3,072,352
資本剰余金	4,124,646	4,124,646
利益剰余金	4,809,504	4,844,347
自己株式	△1,242,065	△1,203,442
株主資本合計	10,764,438	10,837,903
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	164,672	93,261
繰延ヘッジ損益	—	4,712
為替換算調整勘定	△14,331	37,068
その他の包括利益累計額合計	150,341	135,042
新株予約権	23,425	22,627
少数株主持分	71,329	63,063
純資産合計	11,009,533	11,058,636
負債純資産合計	12,497,352	12,537,003

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	5,630,926	4,812,004
売上原価	3,636,498	3,208,766
売上総利益	1,994,427	1,603,238
販売費及び一般管理費	1,546,379	1,469,478
営業利益	448,048	133,759
営業外収益		
受取利息	15,372	15,735
受取配当金	9,014	7,089
負ののれん償却額	12,239	266
投資有価証券売却益	3,251	15,869
その他	16,248	24,231
営業外収益合計	56,126	63,191
営業外費用		
支払利息	1,952	1,450
手形売却損	2,577	2,669
その他	3,455	4,072
営業外費用合計	7,985	8,192
経常利益	496,188	188,759
特別利益		
投資有価証券売却益	—	142,379
負ののれん発生益	14,536	15,899
特別利益合計	14,536	158,279
特別損失		
投資有価証券評価損	10,250	13,460
ソフトウェア除却損	—	12,878
特別損失合計	10,250	26,338
税金等調整前四半期純利益	500,474	320,699
法人税等	83,417	123,931
少数株主損益調整前四半期純利益	417,056	196,768
少数株主利益	2,351	2,741
四半期純利益	414,704	194,026

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	417,056	196,768
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60,027	△71,410
繰延ヘッジ損益	—	4,712
為替換算調整勘定	4,763	59,291
その他の包括利益合計	△55,264	△7,406
四半期包括利益	361,792	189,361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	359,317	178,728
少数株主に係る四半期包括利益	2,475	10,633

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,749,063	2,361,439	1,499,811	5,610,313	20,613	5,630,926	—	5,630,926
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,749,063	2,361,439	1,499,811	5,610,313	20,613	5,630,926	—	5,630,926
セグメント利益 又は損失(△)	199,605	353,251	287,830	840,686	△368	840,318	△392,270	448,048

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△392,270千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更による、当第3四半期連結累計期間の各セグメント利益又は損失に及ぼす影響額は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

第3四半期連結累計期間において、プロセス事業に関連した負ののれんを14,536千円計上しております。これは、当社が追加取得した子会社株式の取得原価が、当該追加取得に伴う少数株主持分の減少額を下回った事によるものであります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,583,508	2,082,364	1,118,548	4,784,420	27,584	4,812,004	—	4,812,004
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,583,508	2,082,364	1,118,548	4,784,420	27,584	4,812,004	—	4,812,004
セグメント利益 又は損失(△)	145,225	235,615	147,222	528,062	△2,366	525,696	△391,937	133,759

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△391,937千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

当第3四半期連結累計期間において、プロセス事業に関連した負ののれんを15,899千円計上しております。これは、当社が追加取得した子会社株式の取得原価が、当該追加取得に伴う少数株主持分の減少額を下回った事によるものであります。